

様式4

令和5年度 学校運営協議会評価報告書1

鳥取県立皆生養護学校

学校長 山田知子

評価日	令和5年6月28日(水)	
評価・提言	学校の所見・改善策	
<p>1 目標設定について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度学校経営方針、学校裁量予算による特色ある学校経営について説明し、承認を受けた。</li> </ul> <p>2 評価項目と目標達成のための取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろ考えて取り組んでいるが、子どもたちには夢、フューチャーを与えながら現実的にクリアし、ステップバイステップでがんばってほしい。</li> <li>・自己評価をする際、変化の比較がわかりやすく客観的に評価しやすいように、できるものは評価の目安がもう少し数値化されている方がよい。</li> </ul> <p>3 具体目標について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが在籍時は保護者同士のつながりが強いが、卒業後は進路先だけの関係性になりがちで、その関係が薄れがち。進路指導課で年に1回、卒業生や卒業生の保護者から話を聞く等の機会(進路参観日)があるが、保護者どうしの交流や卒業後の情報の共有ができる場として複数回あるとよい。</li> </ul> <p>4 目標達成のための具体方策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当公民館も、この春からeスポーツを導入した。(フレイルへの対策)それができれば、子供たちともやりたい。</li> <li>・公民館も関わりとして、どれだけのことができるかわからないが、何かあったら、「こんなことができますか」など言ってもらえれば。</li> <li>・災害時等、いざという時を考え、障がいがある人・家族が地域に住んでいること、地域みんなで生活していることを知ってほしい。そのためにも、地域の人との交流の場を増やし、困っているときはお互い助け合える関係性を築きたい。(ICTの活用も含む)</li> <li>・地域には、まだ学校の中のことがわからない方も多い。子育て、障がいの考え方等含め、障がいのある子等の学びについて、学校の先生が、例えば公民館での講座で先生が講師をする等を</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけ客観的・具体的に評価しやすいように、評価の目安としてできるものは数値化を図っていく。</li> <li>・進路参観日を含め在校生・卒業生への進路に関わる情報発信や保護者間の情報共有の場の持ち方を工夫していく。</li> <li>・地域とつながる学習の工夫を行い、幼児・児童・生徒・教職員の地域(公民館等社会資源を含む)・地域の方とのつながりを広げる取組の推進を図る。</li> <li>・対面での関わりやICTを活用した取組など、交流学习の内容や進め方について、学習のねらいを踏まえ、地域や地域の方の状況に応じて進めていく。</li> </ul>	

<p>してはどうか。自身の学びになることも多いのでは。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・医療的ケアについての本校の体制や取組は整っているが、地域の学校に通学している例では、学校と医療体制の連携が整っていない場合もある。本校のような特別支援学校がいい手本であり、体制・整備を含め、特別支援学校が牽引してほしい。</li></ul> <p>5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・コミュニティースクールについては、地域の方の理解を踏まえて地域の状況に応じて進め、がちがちではなく気持ちを楽しんで、子供のためにはどうしたらよいかと考えてやってほしい。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・医療的ケアに関わる体制の充実をより図り、障がいのある幼児・児童・生徒の学習・生活等について、本校のセンター的機能として状況に応じて地域（学校、関係機関等）に必要な情報を発信していく。</li></ul>
--	--